

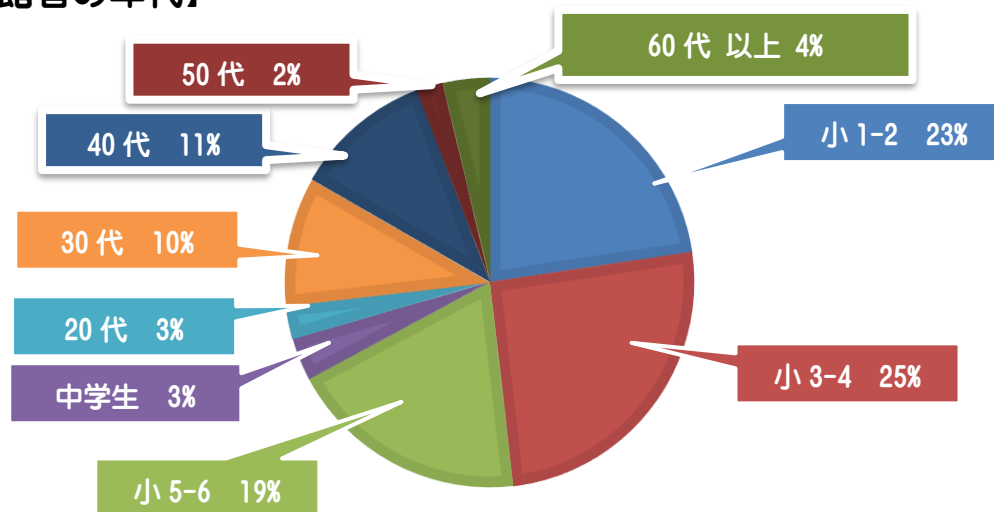
#### IV 事業概要

##### 1 学芸事業【1 展示関係】

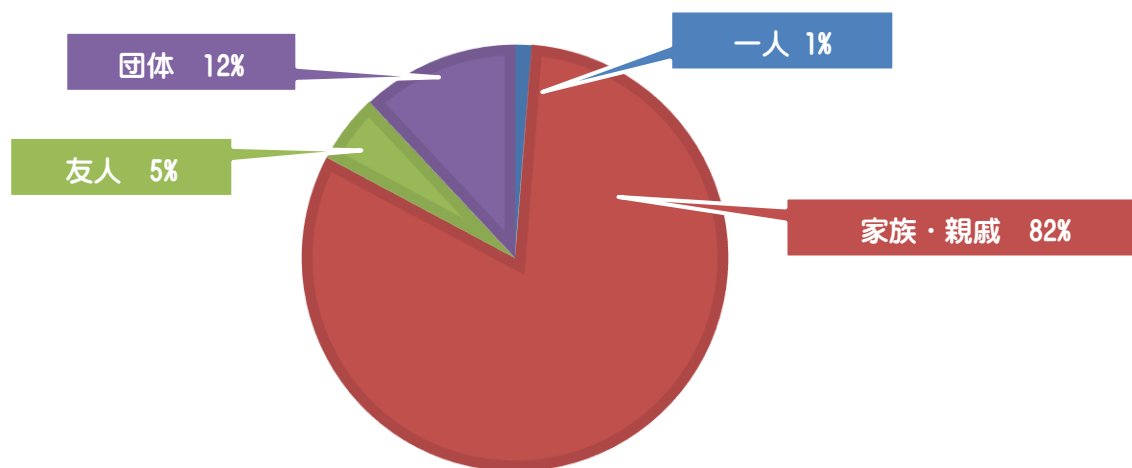
#### (3) 特別展

##### ②令和元年度スリーエム仙台市科学館特別展アンケート結果の概要

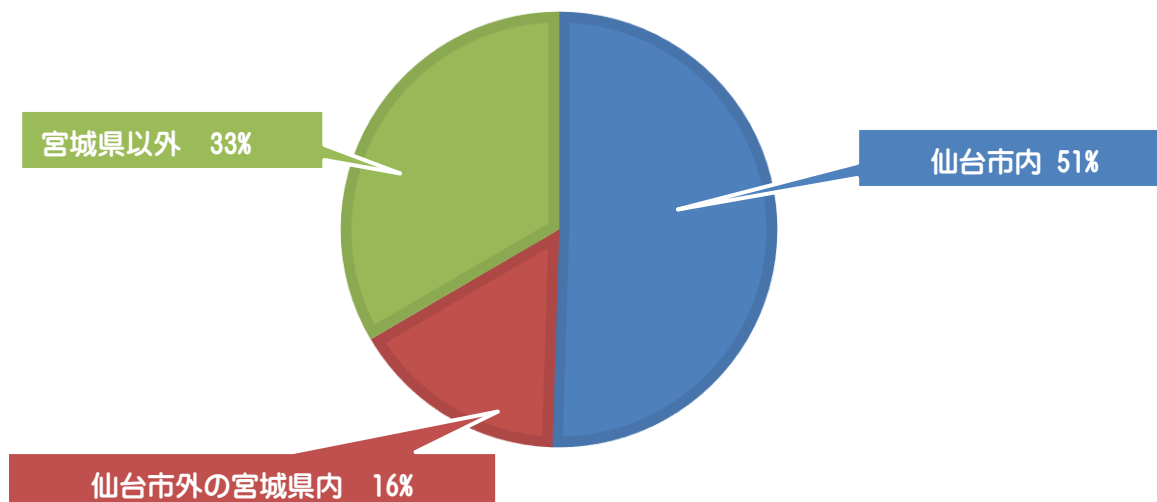
#### 【来館者の年代】



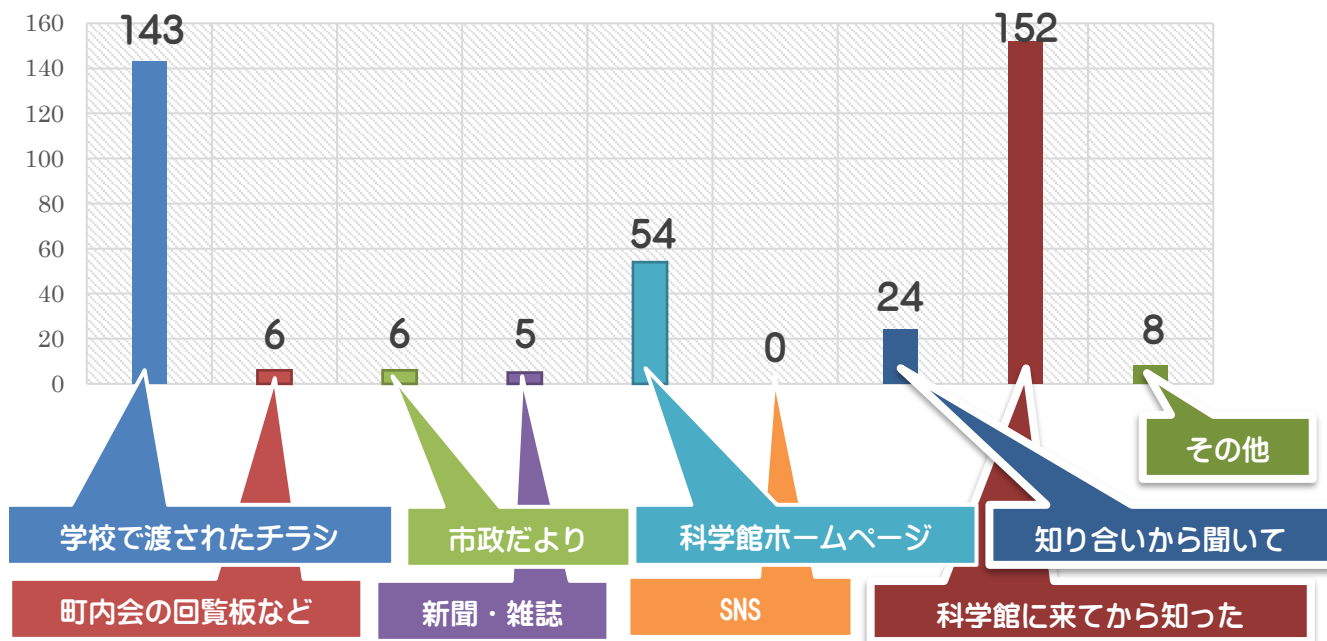
#### 【どなたといらっしゃいましたか】



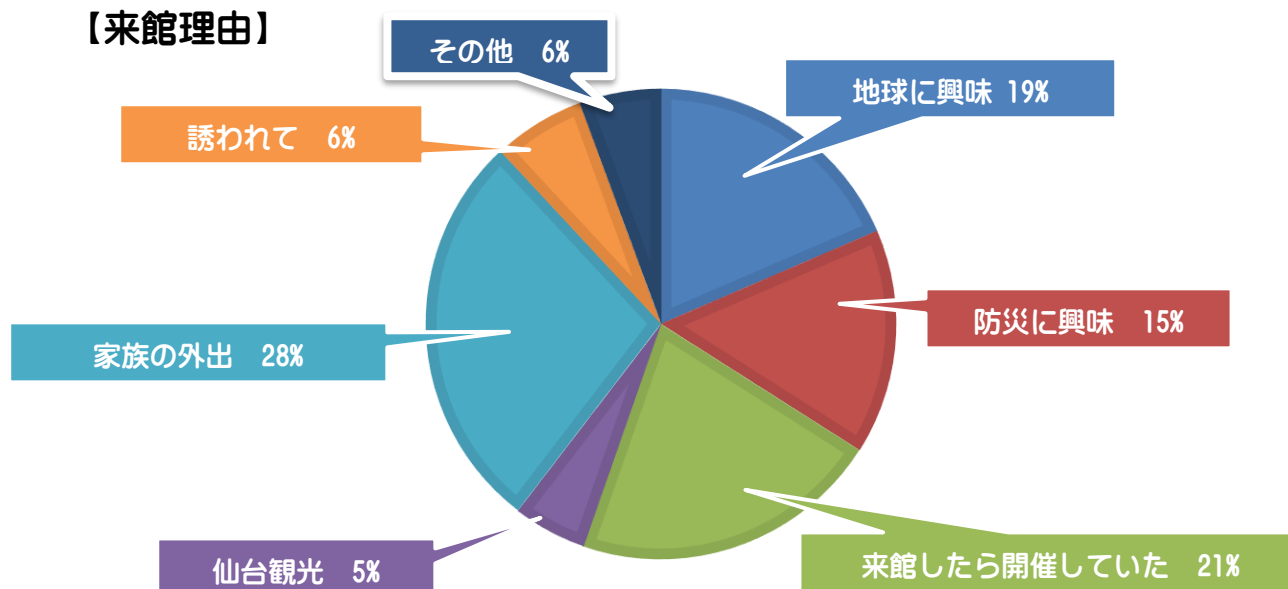
#### 【どちらからいらっしゃいましたか】



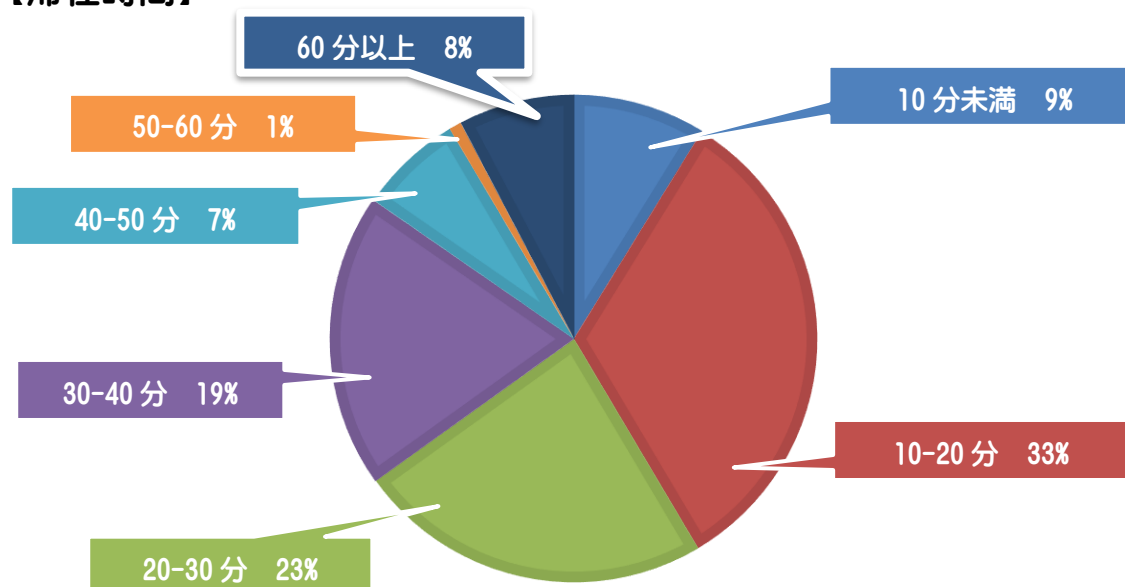
## 【どのようにしてお知りになりましたか】



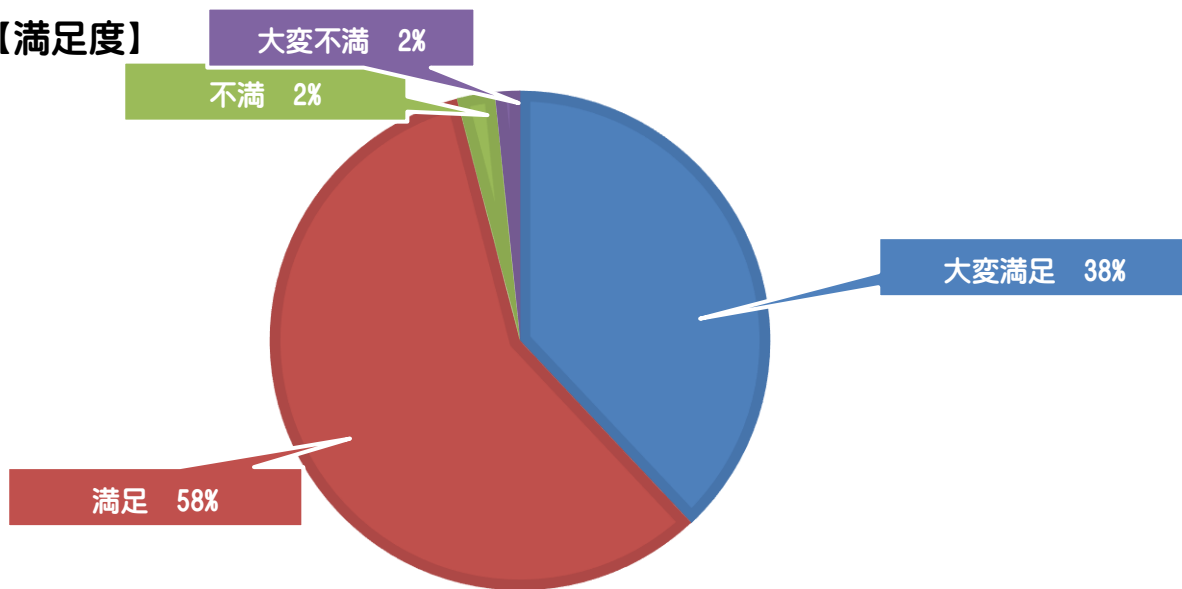
## 【来館理由】



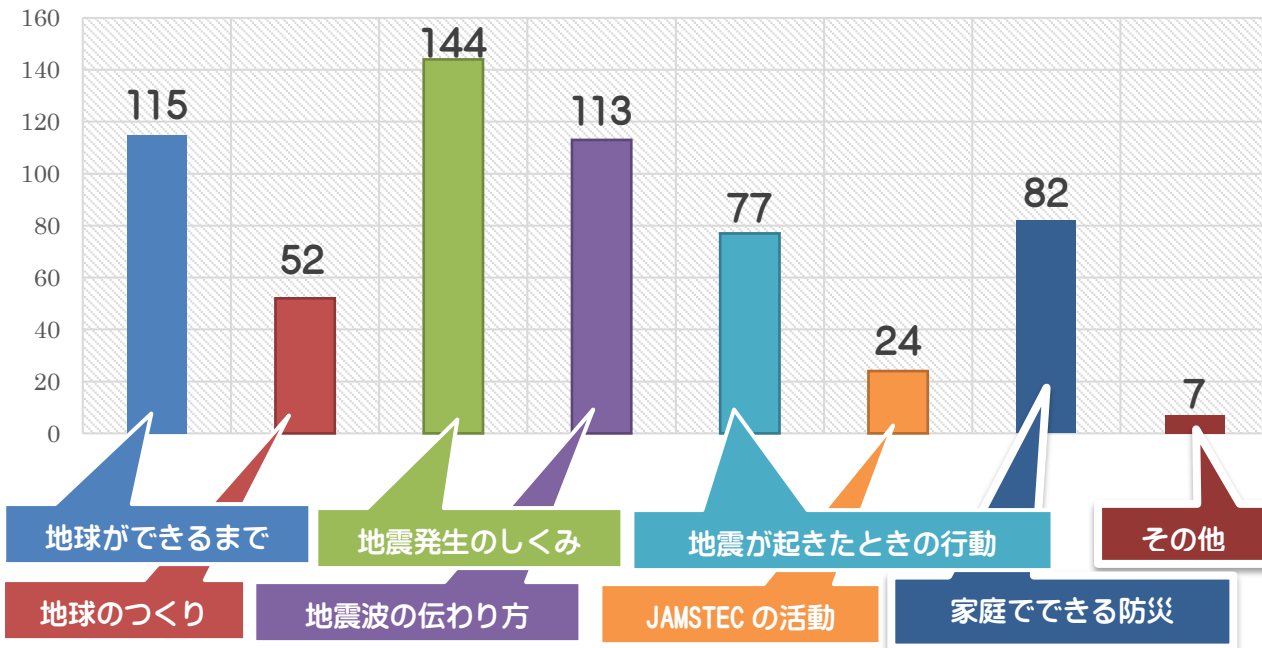
## 【滞在時間】



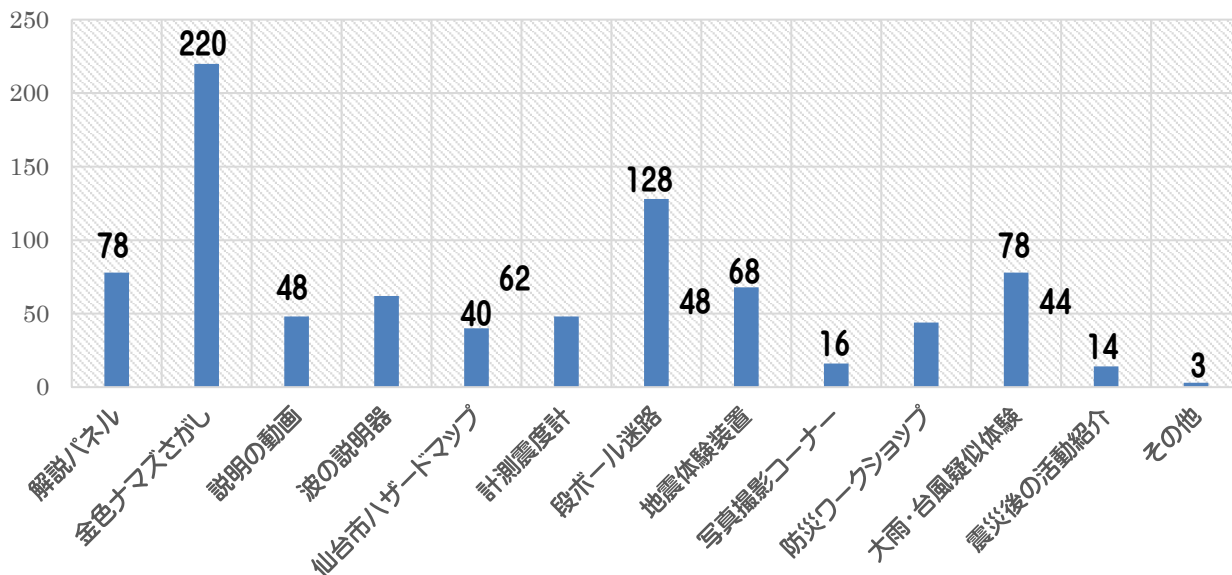
【満足度】



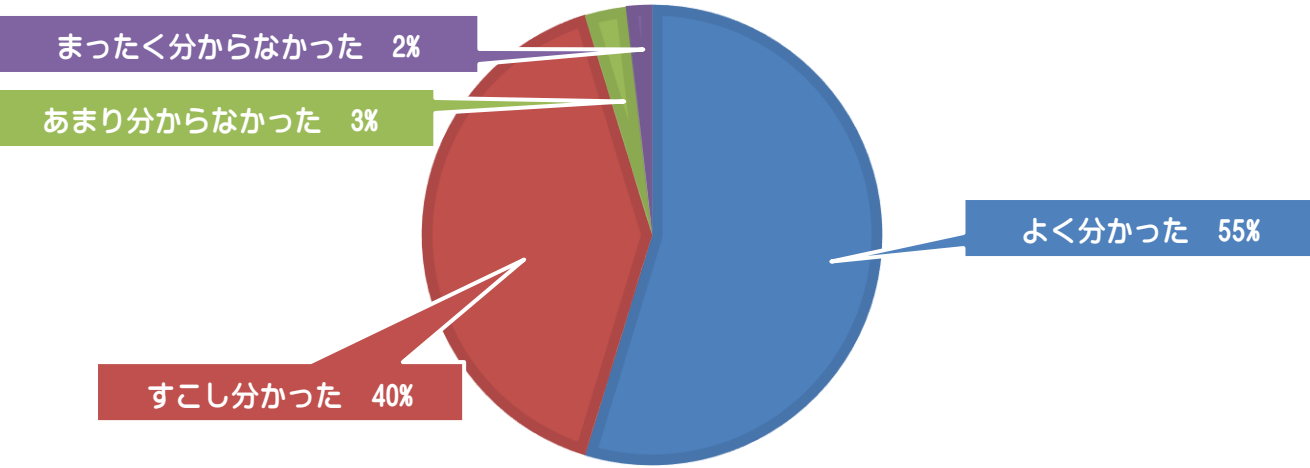
【興味を持った展示内容】（複数可）



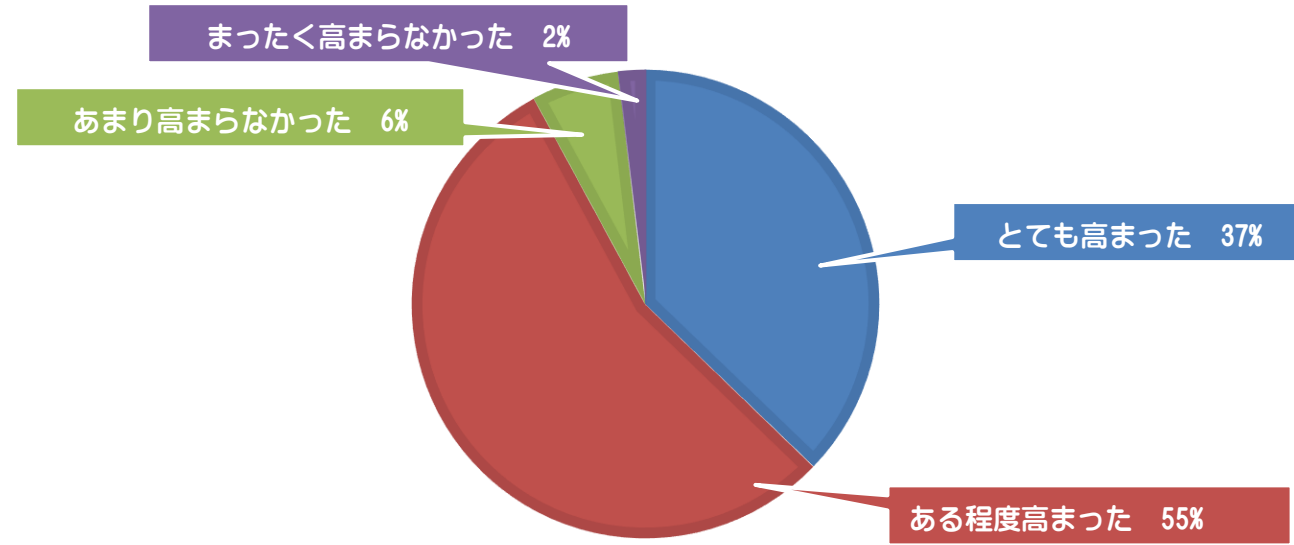
【よかった展示物】（複数可）



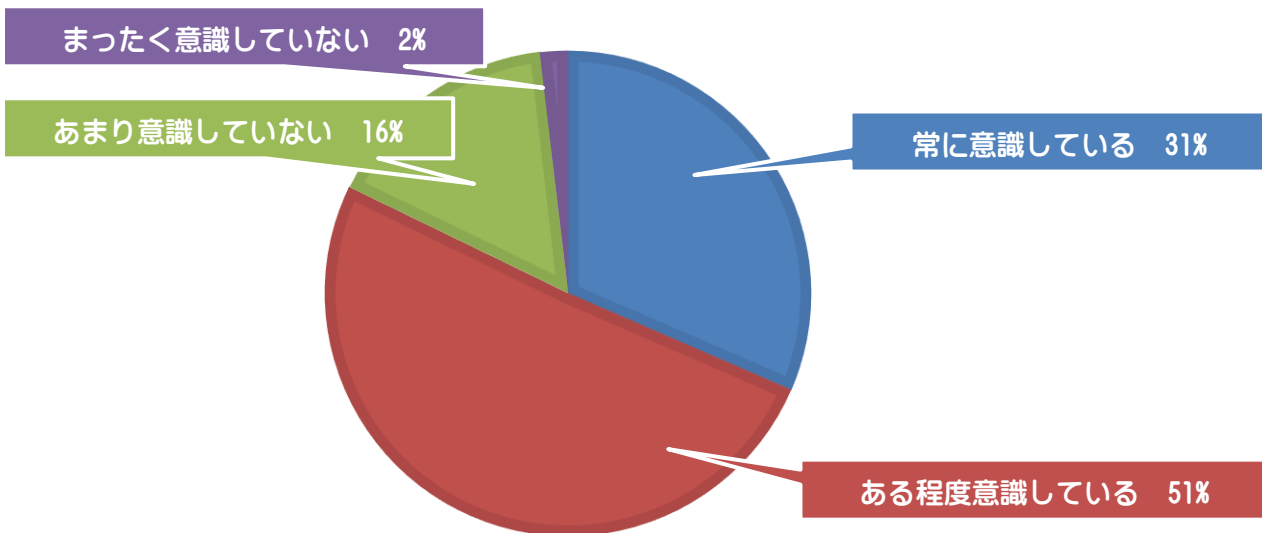
### 【地球の活動のひとつが地震となることや地震発生のしくみについて】



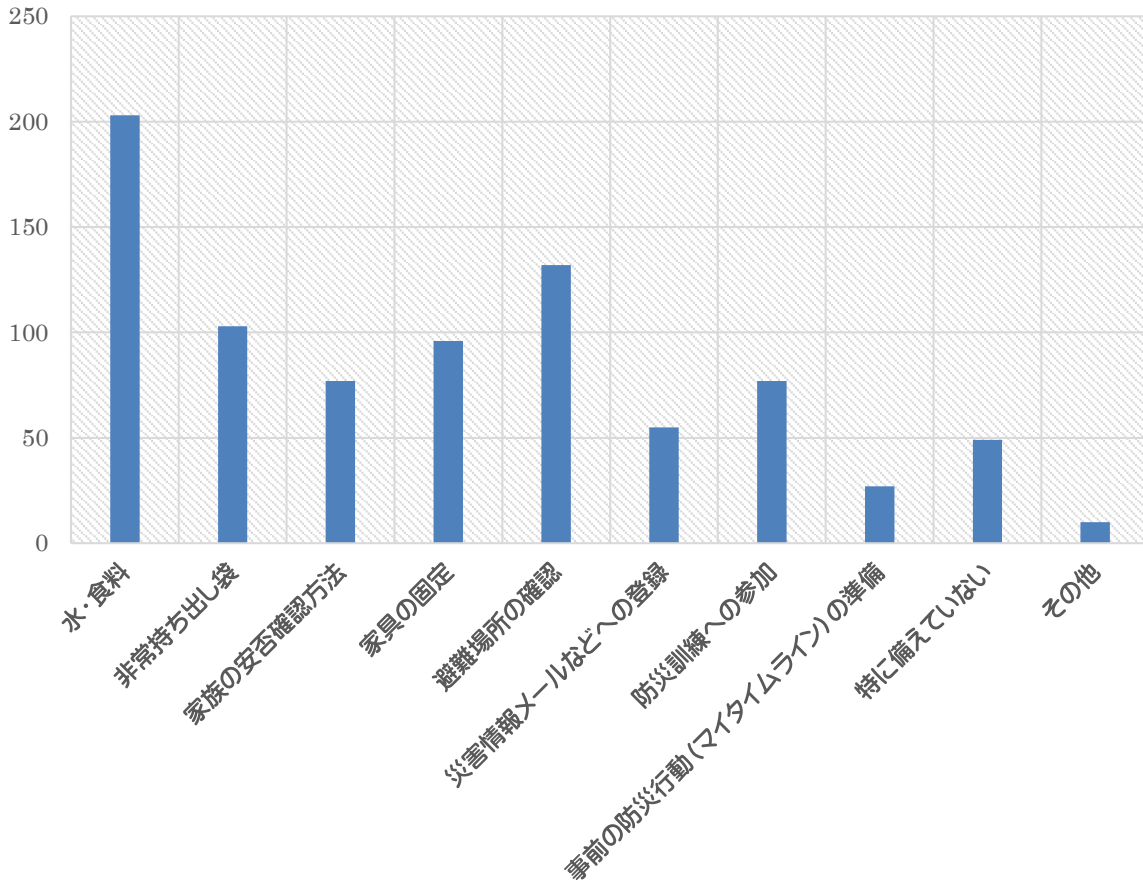
### 【特別展を通して防災についての意識は高まったか】



### 【ふだんから自然災害が起こることを意識しているか】



## 【自然災害に備えていること】（複数可）



## 特別展の感想・感想，満足/不満足の原因（抜粋）

- P波、S波の模型がわかりやすい。
- VR体験は今後必ず役に立つと思う。
- 面白かったが息子には難しかった。
- 親が子に教えるために知っておくべきことが多くあった。
- 地震の仕組みがわかりやすく展示してあった。よかった。
- 体験が混んでいたのもう少し数を増やしてほしい。
- パネルがわかりやすかった。
- 難しい説明もありましたが、とても良い企画と感心した。
- 子供にも関心の持てる内容でよかったです。家の備えについて考えることができた。
- 地震についてよくわからなかったがこれをきっかけに知ることができて楽しかった。
- 地球や地震のことがいっぱい知れてよかった。またこのような特別展に行きたいです。
- 普段の備えが大切なことがわかった。地震などに備えたい。

## 調査結果の分析

主な来館者は、想定通り小学生を含む家族連れと言える。居住地は仙台市が半数で、県外からの来館も 1/3 となった。これは調査時期がお盆期間だった影響があると考えられる。

広報手段として、学校配布のリーフレットは成果があるといえるが、来館してから知った来館者が多い。実際、来館理由として、「来館したら開催していた」や「家族の外出」が多い。滞留時間は 10-40 分が多いが 60 分以上の長時間滞留も見られる。これは、ワークショップや地震体験などの体験的展示に興味を持った層と考えられる。

来館者の満足度はおおむね高く、「地震発生のしくみ」や「地震波の伝わり方」への興味が高い。来館者が良かったと思える展示については、地震体験などの体験的展示に加えて、解説パネルも一定の評価を得た。実際、解説パネルを読む来館者は例年に比べて多く、とくに親子で読み進む方が一定数見られた。また、すべてのパネルを撮影する方や、出版を希望される方もいた。

多くの来館者が、特別展を通して、地球の活動の一部が地震となることや、地震発生のしくみがある程度理解できたと回答している。また、防災の意識が高まったと回答している。これらは、企画の趣旨・意図に合致した調査結果といえる。

自然災害についてはある程度備えており、水・食料の備蓄をはじめ、自然災害への備えがなされている。

自由記述の欄はおおむね好意的な記入が多く、被災者感情による意見や積極的な苦情・批判の記入は見られなかった。